

# 令和3年度第1回池田市図書館協議会会議録要録

日時：令和3年7月4日（日）午前10時～11時40分

場所：池田市立図書館 多目的室

出席者：（委員）藤原委員、大森委員、平井委員、伊勢委員、佐藤委員、前西委員、入江委員、  
谷向委員、中嶋委員、南委員

（事務局）大賀教育部長、林図書館長、塚原石橋プラザ館長、他職員2名

欠席者：なし

傍聴者：なし

議題：1 令和2年度池田市立図書館の運営に関する評価について  
2 （仮称）石橋地域拠点施設の新図書館について

配布資料

- ・第1回図書館協議会出席者名簿
- ・令和2年度池田市立図書館の運営に関する評価（案）
- ・石橋図書館概要について
- ・石橋図書館図面

---

## <事務局挨拶>

---

会長 令和2年度池田市立図書館の運営に関する評価（案）について事務局より説明をお願いいたします。

事務局 池田市立図書館では、平成20年の図書館法改正と「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」により、図書館評価の実施が努力義務になったことを踏まえ、今後の図書館運営の改善等につなげるため図書館評価を行っております。本日の会議で、図書館側の評価について事務局より報告させていただいたうえで、委員の皆様にご意見を伺いする流れとなっております。次回の協議会で、ご意見と結果の分析及び改善策についての部分を入れてまとめたものを最終確認し、図書館のホームページに掲載する予定となっております。

評価の基準については、前年度と同じで3段階の評価となります。

それでは（1）基本的な評価についてですが、来館者数、貸出人数、貸出冊数については、新型コロナウイルスの影響を受けて大幅に減少しております。また、52日間の休館に加え、予約資料の受取りのみ実施していた期間が12日間となり、更に開館後も不要不急の外出自粛要請が長期にわたって実施されていたこともあり、来館者も以前より少なくなったと実感しております。有効登録者数については指標の中で唯一増加しており、本館移転後の新規登録者が継続して利用していることが窺えます。コロナの影響は今後も続くと考えられることから、図書館からの支援として、館内の滞在時間を短縮するための展示

やブックリストの作成、図書館ホームページでの予約や貸出延長の促進、ホームページ上での情報発信に重点的に取り組んでいきたいと考えております。

会長 それでは協議会のほうから意見や提案などありますか。

委員 ホームページでの予約に関してパスワード発行の年齢制限がなくなったことで非常に便利になったと思いますが、利用者への周知が進んでいないように感じます。

事務局 ホームページやポスター等で案内をしておりますが、更にPRに努めたいと思います。

会長 コロナの影響で利用者が減少したということで仕方ない部分もあるとは思いますが、協議会の評価も図書館の評価と同じでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

会長 次に(2)の「池田市立図書館運営基準」に基づく施策評価の説明をお願いします。

事務局 ①「多様な資料・情報の収集、整理、保存に努め、市民の読書活動を推進します。」としまして3つ項目を挙げております。まず、「池田市立図書館収集方針」に基づいた資料の収集についてですが、蔵書数が令和元年度と比較して1,394冊増加し市民1人あたりの蔵書数は元年度と同様で3.9冊となっております。また本館については4月の臨時休館中に大幅な書架移動を実施し、一般書の一部を児童コーナーに移設し前年より約1万冊増加しております。移転当初は10万冊ほどでしたが年々開架冊数は増加しております。それから適正な管理としまして、旧本館の書庫にある蔵書を整理し、除籍基準に基づいて3年の保存期間を超えた雑誌や傷みが激しい資料や、内容が古くなって間違った情報を与える等の利用に供しない資料を約1万3千冊除籍しております。以上の点から評価はAとしております。

続きまして郷土資料・行政資料の充実ですが、令和元年度から205冊増加しております。内容としましては令和3年度の市内小中学校採択教科書を新たに購入し別置しております。教科書は郷土資料の中でも問合せが多く、本館移転後に入り口付近に郷土資料を配置したことによって、案内がしやすくなったことが大きなメリットとなっております。

また、行政資料については、数の多い池田市議会に関する資料を、会期ごとにラベルで色分けして探しやすくなるよう整理し、こちらも見出しをつけて分かりやすく配架しております。以上の点から評価はAとしております。

続きまして、新石橋図書館開設に向けての蔵書移設準備についてですが、こちらは令和2年度より新たに項目に追加しております。具体的取組みとして「令和4年度の石橋新図書館開館に向けて、計画的に蔵書の移設を行う。」として、移転決定後すぐに移設の準備に取り掛かっております。取組み結果として、新型コロナウイルスによる臨時休館期間に旧本館の蔵書を整理し、石橋図書館へ移設する準備を開始しております。新石橋図書館の書架レイアウトに基づき、分類番号の修正やデータの整理、移設する本の選定等、移転準備として計画的に進んでいる点から評価はAとしております。

会長 新型コロナウイルスの影響で生じた臨時休館中の時間を有効活用して、蔵書の整理や石橋新図書館への移転準備に積極的に取り組まれたということですね。協議会の評価もAでよろしいでしょうか。

全委員 異議なし。

事務局 ②「市民が必要とする資料や情報を提供することにより、「地域の情報拠点」として課題解決に役立つ図書館を目指します。」ですが、5つの項目を挙げております。まず、レファレ

ンスサービスの充実についてですが、当館で受けたレファレンスをデータベースに登録し、一般公開するとともに、日常のレファレンス業務に役立てる仕組みとなっております。また国会図書館が一般公開しているレファレンス協同データベースにもデータを登録しています。令和2年度は、自館システムで91件、レファレンス協同データベースで2件登録しました。

また、本館に導入しているオンラインデータベースの利用件数は216件、印刷枚数960枚の利用がございました。感染症拡大防止のためPC席の台数や利用時間を制限していただきましたので、通常であればもっと利用があったのではないかと推測しております。レファレンス件数についても令和元年度は移転による利用増により新規登録や簡単な蔵書検索に追われ処理件数が少なかったのですが、令和2年度は重点的に取り組んだ結果、前年の倍の件数となっております。

研修については開催自体が縮小になったことから参加者も減少しましたが、Zoomによる遠隔研修に2名が参加しました。以上の結果から評価はBとしております。

続きまして子育て支援サービスの充実についてです。以前協議会でもご指摘がありましたキッズコーナー外周の書架ですが、2段目に絵本を並べることで通り抜けや落下防止対策を講じました。また上段に市内の施設案内や市の子育て情報等を分類しテーマごとに見出しをつけて手に取りやすいよう工夫して並べるように変更しました。行事に関しては、本館では、施設内の歯科医院と連携し、子どもの歯に関する講座を毎月開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により開催回数は1回となってしまいました。こちらはコロナが落ち着きましたら、継続して開催していきたいと考えております。

石橋プラザでは令和元年度に引き続き「子育てのちょっといい話」を実施し、乳幼児向けのおはなし会などの後に保健師や栄養士等に子育てに役立つお話や質問に答えてもらうなど、保護者の身近な疑問を解決に導けるよう情報提供に努めております。また子育て世代包括支援センター「にじいろ」担当者による子育て相談を、元年度に引き続き実施しております。石橋プラザで実施したこの2つの事業について、元年度は本館でも実施していましたが、本館は施設の構造上窓がなく、新型コロナウイルス感染防止対策として空調による換気と廊下側の扉を開けるといった対策のみとなることから、行事の開催が難しい状況となっております。

次に、読書支援としまして乳幼児向けブックリストを作成し、配布しております。コロナ禍でなかなかゆっくり手に取って本を選べない状況が続いておりますので、こういった支援について今後も重点的に取り組んでいきたいと考えております。以上、行事の開催数が減少した点から評価はBとしております。

続きまして、課題解決サービスの充実についてですが、重点項目としてあげていた「暮らしに役立つ情報講座」や「健康講座」については新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催となり、令和3年度以降に実施予定で調整しております。また新型コロナウイルス感染症関連資料を、医療だけではなく様々な分野から集めて医療情報コーナー内に新設しております。新型コロナウイルスに関連した最新の新聞記事等を掲示するとともに図書館ホームページでブックリストを公開し、情報提供に努めております。さらに認知症コーナーも整備し図書館ホームページにて紹介し、ホームページのブックリストからはそのまま予約がかけられるようになっており、インターネット予約の利用促進にもつながってお

ります。

また、調べ案内については、市民からの問い合わせが多いテーマをとりあげ、地図の調べ案内「池田市の地図」や、新聞記事の調べ方についてまとめた「新聞の調べ方」を作成し、配布しております。ただ、各種講座が未開催となってしまったことから、評価をBとしております。

続きましてホームページやSNSの活用についてですが、インターネット予約件数が前年度と比較して約3,000件増加しております。カウンター予約を含めた予約全件数は128,734件となり前年度より5,399件減少していることから、臨時休館によって窓口や館内OPACの利用は減少しましたが、自宅からインターネットで予約した資料を借りる利用者が多かったことが窺えます。また、インターネット用パスワードの発行年齢制限をなくし、インターネットでの予約や貸出延長の利用促進を図ったことで、図書館ホームページでの各種案内利用件数は約36万件増加しております。また新型コロナウイルスによる臨時休館のお知らせなど、日々変化する状況に応じた対策をホームページやツイッターでこまめに案内し、利用者への周知に努めております。以上、インターネット予約件数や各種案内利用件数が増加している点から評価はAとしております。

続きまして、広域利用・相互貸借の促進ですが、全登録者数は増加していますが、新型コロナウイルスの影響により、貸出人数、貸出冊数ともに減少傾向となっております。川西市との相互利用についても同様に、全登録者数は増加していますが、貸出人数、貸出冊数ともに減少傾向となっております。相互貸借数につきましても、新型コロナウイルスによる臨時休館の影響で他館からの借受けは339件の減少となりましたが、貸出しは令和元年度とほぼ同数となっております。以上、広域利用、相互貸借数が減少傾向となったことから、評価はBとしております。

委員 CやBの評価がありますが新型コロナウイルスの影響で仕方がないと感じます。本館では施設の構造上行事の開催が難しいとありましたが、これから移転する新石橋図書館は最初から換気しやすい構造にするなど対策が施されていることを期待します。

委員 おはなし会のために準備を進めていても感染状況によって中止になることが多く、仕方がないことだとは思いますが残念です。

委員 近年豪雨災害なども増えたことでハザードマップの需要も高まっていると思うので、図書館内のわかりやすい場所に配置するなどしてはいかがでしょうか。

委員 インターネットでのサービスに力を入れているのは便利になってよいと思いますが、インターネットが使えない人にも引き続き配慮をしていってほしいです。

事務局 インターネットを使えない方が新刊本の情報を入手できるよう、新着リストを発行して配布しております。今後もこういったインターネット以外でのサービスも継続して行っていきたいと考えております。

委員 レファレンスに関して研修参加人数が減少したことでBとされていますが、レファレンス自体は重点的に取り組み、前年度より充実した内容になっていたのではないかとと思うので評価はAにしてはいかがでしょうか。

全委員 異議なし。

委員 図書館のホームページにあった新型コロナウイルス関連コーナーの紹介とリンク集を見ましたが、情報収集に役立ち、とても便利でよいと思いました。

副会長 小学校では1つの教室で平和学習についての読み聞かせを行い、各教室にいる児童に向けて配信を行っていますが、図書館のホームページ上で読み聞かせの配信をするのはどうでしょうか。

事務局 図書館での読み聞かせの配信は、著作権の制約等があり難しいのですが、インターネット上で閲覧できるサイトの紹介など、情報発信はホームページで行っております。

委員 感染症対策として空気清浄機などを設置して換気を行いつつ行事や講座を開催することは難しいのでしょうか。

事務局 現段階で感染症対策として絶対に効果があるといえるものがない状況ですので、自分たちでできることから感染症対策や利用者サービスの充実を図っていきたいと考えております。

会長 新型コロナウイルス対策として特別に予算を増やすなどの対応をしてほしいと思いますが、実現するように利用者からも要求していくべきだと思います。コロナ禍だからこそ図書館で本を借りて家で読みたいというニーズは高まっているように思います。図書館はインターネットを活用し、今出来る工夫に取り組んでおられると実感しております。

事務局 続きまして、③「子どもたちの豊かな「学び」を応援し、学校、家庭、地域等と連携して子ども読書活動の推進を図ります。」については、6つの項目がございます。児童書の冊数については、書庫の児童書を整理し、破損及び不適時等の蔵書を除籍した結果2,478冊の減少となっておりますが、開架冊数だけみると1,950冊の増加となり、適切な蔵書管理を今後も実施していきたいと考えております。次に令和2年度のおはなし会実施回数は20回で参加人数は220人となりました。新型コロナウイルスの感染防止策として、人数を制限して予約制で11月より再開しましたが、12月中旬より感染拡大のため中止となり、ほとんど実施できませんでした。それから、短い滞在時間で本を選ぶ手助けとなるように各種展示を実施しております。本館では22回、石橋プラザは大人向けと子供向けを一緒に展示する形で10回展示しております。また、年末年始に「おたのしみ福袋」と題して、図書館司書がおすすめる本を年齢別にテーマをそえて袋詰めにして貸し出し、新たな本と出会う機会を提供しました。利用者から好評で、今後もこうした知らない本や作家との出会いにつながるようなイベントを企画していきたいと考えております。以上、おはなし会の実施回数や参加人数が減少している点で評価はBとしております。

続きまして、児童向けの調べ案内の作成については令和3年度に作成することとなりました。また、ブックリストについては、テーマごとに作成し配布しておりますが、ホームページ上でも、コロナや認知症、医療情報、課題図書等のブックリストを掲載しております。この項目については、児童向けの調べ案内の作成ができなかった点から評価はBとしております。

続きまして、ヤングアダルトサービスの充実についてですが、新型コロナウイルスの影響による臨時休館中に書架配置を見直し、展示棚と10's(ティーンズ)情報コーナーを新たに設置しました。10's情報コーナーでは10代向けのチラシやブックリスト、パンフレット等を並べて配布しております。遠くからでも棚の並びが分かるように書架の上にサインを追加し、見出しのデザインもオリジナルキャラクターを使用した親しみやすい表示に変更しました。それから、ホームページの「10'sのページ」のリニューアルに引き続き取り組み、テーマ展示や課題図書のブックリストを公開しております。10代は

最もインターネットを利用する機会が多い年代ですので、今後もインターネットでの情報発信に重点的に取り組みたいと思います。重点目標である10'sコーナーの活性化には取り組みましたが、10'sコーナー通信の発行が出来なかった点で評価はBとしております。

続きまして学校図書館との連携促進についてですが、令和元年度同様FAXを使用して学校司書からのレファレンスや調べ学習用の資料収集を行いました。また、授業で使用する資料や生徒からの予約本は庁内連絡便で配送するなど、迅速な対応に努めております。また、学校図書館教育研修会を図書館で開催し、学校司書のニーズの把握及び資料提供に役立てております。

次に年4回実施している学校への団体貸出用の配本ですが、緊急事態宣言の影響で令和2年度は2回の実施となっております。前年同様図書館の除籍資料の中から活用できる資料を学校司書に選択してもらい、学校図書館での有効活用を図っております。以上、学校配本の回数が減少している点から評価はBとしております。

続きまして団体貸出しの拡充についてですが、団体貸出冊数は新型コロナウイルスの影響により、通常は年4回ある学校配本が2回となったことや、文庫等への貸出しも臨時休館で実施できなかつたり、コロナで文庫や地域コミュニティ自体が開設出来なかつたり等の影響により貸出冊数が減少しております。以上、貸出冊数が減少していることから評価はCとしております。

続きまして見学や職場体験の受入れについてですが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため学校見学及び体験学習は中止となっております。令和3年度についても、当分は新型コロナウイルスが収束しないと思われるため、従来の学校から来てもらう形ではなく図書館職員が学校に行き説明するといった出前授業のような形式で実施することを検討しております。この形式であれば、3年生だけでなく他の学年や中学校でも実施できるので、対象を広げる対策としても今後検討していきたいと思っております。職場体験については以前から主に市内中学校2年生の職場体験を受け入れており、有意義な体験となるよう対応可能な受入れ人数を2名までと限定して実施しております。今後依頼があれば学校と連携し、実施する場合は感染防止対策を講じて実施方法を検討したいと考えております。以上、こちらの項目も実施できなかったことから評価はCとしております。

委員 団体貸出しの項目については、コロナの影響で学校配本の回数は半分に減少していますが、貸出冊数は元年度とほぼ同じ水準となっているので評価はBでよいと思いますがいかがでしょうか。

全委員 異議なし。

会長 「おたのしみ福袋」は新たな本と出会う機会ができる、とても良い企画ですね。調べ案内・ブックリストの項目についてもブックリストは作成されていますし、調べ案内も3年度作成予定ということなので評価はAでよいと思うのですが、いかがでしょうか。

全委員 異議なし。

事務局 続きまして、④「図書館ボランティアとの協力を深めるとともに、市民同士の交流の機会・場を提供し、市民がわくわくしながら集い、出会う、楽しい図書館をめざします。」については、3つの項目がございます。

まず、ボランティアとの協働事業の実施についてですが、例年実施している「図書館ま

つり」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため未開催となっております。年間ボランティア参加人数も約1,200人減少しており、図書館行事に関しては新型コロナウイルスの影響によりほとんど開催出来なかったことから、参加人数は減少しております。書架整理ボランティアやボランティア団体の集会等は、緊急事態宣言発令時以外は感染防止対策を講じて活動を実施しております。以上、コロナ禍においても可能な限りボランティア活動を受け入れておりますが、人数の減少や行事がほとんど出来なかった点から評価はBとしております。

続きまして各種行事の実施についてですが、五月山児童文化センターと連携した行事を11月に開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い中止となってしまいました。令和3年度に持ち越しで、秋頃にコロナがある程度収束していれば開催する予定で調整しております。施設内の歯科医院と連携した行事「歯医者さんの子育て応援講座」は令和元年度からスタートしましたが、令和2年度は残念ながら1回しか開催できませんでした。こちらも今後コロナが落ち着きましたら、継続して連携していく予定です。ソフトバンク株式会社との包括連携協定に基づいた連携行事「スマートフォン体験講座」は石橋プラザで2回開催しました。令和元年度は本館でも開催したのですが、行事を行う部屋に窓がないため、新型コロナ感染防止対策として少人数で廊下側の扉を開けてしか開催できず、周囲の音がかかり入ってくるのが難点となっております。行事開催についてはすべて申込制による人数制限や換気、座席の間隔を広くする等の感染防止対策を講じて開催しております。可能な限り開催しましたが、やはり回数と参加人数が減少している点で評価はBとしております。

続きまして図書館協議会の充実についてですが、例年通り3回開催できました。審議内容としては令和元年度図書館運営評価外部評価を実施し、図書館協議会による評価を決定していただいております。また石橋新図書館の進捗状況についてもご報告・審議をいただいております。協議会に関しては順調に開催、審議いただいていることから評価をAとしております。

会長 努力はしたがコロナの影響でボランティアの参加人数や行事の回数など、数値としては及ばなかったということですね。協議会の評価も同じでよいですか。

全委員 異議なし。

事務局 続きまして⑤「高齢・障がいなどの理由により図書館利用が困難な市民へのサービス拡充や情報提供の格差解消に努め、誰にでもやさしい図書館をめざします。」についてですが、こちらは3つの項目がございます。

まず障がい者支援資料の充実についてですが、障がい者支援資料点数4,325点となり、医療分野など内容が時代に合わなくなった点字図書や傷みが激しい録音テープ等提供不可能な資料を除籍して整理した結果、全体では52点減少しております。録音テープについては利用も減少しており、現在はデジタイズ図書が主流になっております。また入口付近に設けた障がい者支援資料を紹介する特設コーナーに、新たにマルチメディアデジタイズの一部を配架し、利用方法等のPRを実施しています。マルチメディアデジタイズは音声と映像が見られるもので、特設コーナーに配架しているものは誰でも借りることができます。利用制限があるものは障がい者室に置いております。障がい者支援資料のうち、所蔵していないものについては、サピエ図書館のネットワークを活用し、令和2年度はデジタイズ図

書1, 032点を利用者に提供し、前年より約200点利用が増加しております。この障がい者支援資料は無料郵送貸出しにより、コロナ禍においてもサービスを停止する期間がなかったため利用も増加しております。以上順調にサービスを提供できた点から評価はAとしております。

続きまして多言語サービスの充実についてですが、多言語おはなし会は3月に開催を予定していましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となり、令和3年度開催の方向で国際交流センターと調整しております。この取り組みは丘の上の図書館時から継続して年2回ほど開催しており、今後は新石橋図書館が入る施設に国際交流センターも入りますのでさらに連携した行事を実施したいと考えております。

また洋書コーナーの蔵書増加に努め、令和元年度から約100冊増加し1,348冊となっております。読みやすさのレベルを表記した英語多読コーナーを設けて英語本の読書推進に取り組んでおります。石橋プラザにも設置しておりますが、新石橋図書館では多文化共生施設と連携しながら重点的に取り組んでいきたい分野となっております。多言語おはなし会が開催できなかった点から、評価はBとしております。

続きまして図書館への来館が困難な市民へのサービス充実についてです。宅配サービスはコロナの影響により介護施設への貸出しが実施できず、令和2年度は貸出冊数69冊と前年より減少しております。移動図書館利用数についても新型コロナウイルスの影響による臨時休館に伴い巡回回数が減少し、年間の利用数が減少しております。元年度に引き続き、旧本館に近い新設のアルビス五月丘の利用が315人、1,334冊と年間最多利用ステーションとなっております。また、現在運行している移動図書館車が製造後16年を経過し、交換部品の供給等、安全面の確保が困難になる状況から、宝くじの社会貢献広報事業の一環である一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業に申請し、移動図書館車を更新することが決定しております。新しい移動図書館車は現在より少し小さめの1.5t車になり、積載冊数は減少しますが、今まで行けなかった道が狭いところや駐車スペースが狭いところなど、高齢の方や乳幼児を持つ保護者の方がより利用しやすくなるよう配慮したステーションへの運行を検討していきたいと考えております。こちらの項目も宅配、移動図書館ともに利用数が減少していることから評価をBとしております。

委員 移動図書館車を新しくすることでよりサービス充実につながると期待できますね。利用数は減少しているかもしれませんが、移動図書館車の新規購入で新たなサービスの展開が期待できる点から、こちらの項目に関しては協議会の評価はAとしてはどうでしょうか。

全委員 異議なし。

会長 以上で令和2年度池田市立図書館の運営に関する評価を終了いたします。続いて議題2つ目の新石橋図書館の概要に移っていただきたいと思います。

事務局 (資料に沿って説明) 新石橋図書館は現在の石橋プラザの1.9倍の面積で、本館の半分ほどになります。開館時間については、現在土曜日は午後6時までとなっておりますが、移転後は午後8時までとなります。3階に予約棚と予約照会機を設置予定です。

委員 先ほど本館の行事開催で換気についての話題がありましたが、新石橋図書館は窓や換気についてはどうなる予定ですか。

事務局 窓が多く開放的なつくりで、書庫においては24時間換気、書庫以外のフロアについても換気を行える仕組みになる予定です。地下の書庫は土地が低いいため、浸水を防ぐための止

水扉を設置いたします。

会 長 建物はバリアフリーの設計ですか。

事務局 館内に階段がありますが、エレベーターもついておりますのでそちらで移動することができます。また、1階に多目的トイレを2つ設置いたします。

委 員 テラスが作られるとのことですが、ここで本を読んだり読み聞かせなどの行事を行ったりできるのでしょうか。

事務局 テラスには椅子を設置する予定なので、晴れているときには外で本を読んでもいただけます。行事については本館と調整しつつ今後検討していきたいと思います。

会 長 新石橋図書館が市民にとって利用しやすい施設となることを期待します。それではほかになければ、以上で本日の会議を終了いたします。